

臨床研究「急性期治療後の嚥下障害と予後の検討」について

日立総合病院 救急集中治療科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的：

集中治療室に入室する重症な患者様は治療終了後に嚥下機能が低下してしまうことはよく経験し回復が難しい患者様もいらっしゃいますが、明確なデータがありません。また、嚥下機能を客観的に評価することで、今後の見通しを予測できる可能性があります。今回、当院の集中治療室に入室し、嚥下機能低下が予想され言語聴覚士が介入した患者様の嚥下障害の程度と予後・転帰に関して検討いたします。

② 研究対象者：

当院救急集中治療科に入院、集中治療室に入室し、言語聴覚士介入になった患者様

③ 研究期間：倫理委員会承認後～2025年3月31日

④ 研究の方法：

当院のみによる、今までの情報のみを用いた観察研究です。当院救急集中治療室に入室し、嚥下機能低下が予想され言語聴覚士介入になった患者様の嚥下障害の有無、客観的指標（The Mann Assessment of Swallowing Ability(MASA)、Assessment of Swallowing Ability for Pneumonia(ASAP)）のスコア、予後・転帰について調査します。

⑤ 試料・情報の項目：カルテ記載された診療記録

⑥ 試料・情報の管理について責任を有する者：

日立総合病院 救急集中治療科 遠藤理子

⑦ 本研究へ参加を希望されない場合

患者様や御家族が本研究への参加を希望されず、情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑧ 問い合わせ連絡先

株式会社日立製作所日立総合病院

住所：〒317-0077 茨城県日立市城南町 2-1-1

所属・担当者名：救急集中治療科 遠藤理子

電話：0294-23-1111（代表）